



令和8年度スタート！～約二週間が過ぎて～



新年度がスタートして、約二週間がたちました。その間に、たくさんの事が行われました。

4月8日の就任式・始業式。新しい出会いへの期待。新しいクラスや担任発表への期待と不安の入り混じった表情。それでも凛とした姿で式に臨む生徒たちに、「今年もいいスタートができた」と心の中で喜びました。新しい教室の窓に貼られたクラスの名簿を見た生徒たちの混乱もなく、スムーズに新しい担任との出会いをはたしたようです。もしかしたら、新しいクラスに不安な気持ちがある生徒もいるかもしれませんが、これから一つ一つの行事や日々の授業を重ねていく中でお互いを知り、いつの間にか不安よりも喜び・楽しみが上回っていく事が多々あります。それを信じて、当たり前のことを当たり前に行う事から始めていきましょう。先生方もみんなが少しでも新しいクラスになれるようにいろいろと考えておられます。2年生は早速ドッチボール大会を行っていました。(真ん中の一番左の写真)

4月9日には入学式。1年生の堂々とした入場。そして学級で真剣な表情で担任の話を聴く姿。小学校で学んできたことをしっかりと実践できていました。これから3年間でのさらなる成長を期待できる姿だったと思います。

4月10日には1年生の歓迎行事がありました。「中学校とは」「三中とは」「専門委員会の紹介」「部活動の紹介」を行いました。準備期間も練習時間もほとんどない中で、執行部を中心に2・3年生が精一杯1年生に紹介していました。それを他人事ではなく、自分事としてしっかりと聞いていた1年生。素晴らしい態度でした。1年1組の山下聖夏さんがお礼の言葉を堂々と述べてくれました。ありがとう。

4月18日（土）には初めての授業参観。どの学級も楽しそうに授業に参加しており、時折歓声も聞こえてきました。3年生は学年統一で進路学習を行っており、既に受験参考書を用いた受験対策は始まっていますが、いよいよ高校入試に向けた取り組みが始まるなど気が引き締まった表情の生徒がたくさんいました。それは学年懇談会での保護者の表情も同じです。全員の進路をしっかりと保障すること。中学校職員にとって大きなミッションです。

ちなみに、先生方もみんなのために日々努力を重ねられています。4月17日（金）には樺島先生、池端先生、坂本先生が先生方対象に模擬授業をされました。昨年度以上に、生徒がいきいきと活躍できる授業を目指しての研修です。予測不可能な社会をたくましく生き抜くために、本校生徒が身につけるべき資質・能力は前号でお伝えしました。その力をつけるために日々の授業の充実をはかります。楽しみにしておいてください。（下段一番右の写真）

子どもは地域の宝、地域全体で育てていきましょう

是非ご協力のほど、よろしくお願いします。

PTA 総会のはじめに、生徒会長の西田楓さん、副会長の西岳宗佑さん、野中柑菜さんが「本校生徒が重点的に育成をめざす資質・能力」の決定に至るまでの経緯と想いを語ってくれました。その中に、「生徒・学校・家庭・地域・行政の五者で共有する」という言葉がありました。なぜこの活動をするのか。最終的な目的は資質・能力の育成のためです。根底にある想いを共有することは、教育効果の最大化のためには必要不可欠です。「周囲とつながる力」「人権感覚を身に付け考動する力」「コミュニケーション能力（傾聴力・対話力・発信力）」「想像する力」「踏ん張る力」の5つです。どうぞよろしくお願いします。

それに加えて。地域の子どもたちは地域全体で見守ることも必要です。

先日、メールにて発信しました商業施設での姿や自転車の乗り方。それだけでなく、雷等の際の下校や暗くなつての下校時の対応等、保護者のご協力が必要となる場合が多々あります。しかし、昨今の社会情勢から「知らない人から声をかけられたときの対応」は各家庭で指導されている事と思います。なかなか声をかけづらいかもしれませんが、例えば知っている生徒が何か困っている時は、「身近な大人」として声をかけてください。知らない生徒だけでも明らかに三中生が困っているなど思ったら、遠慮なく三中に連絡してください。三中生が望ましくない行動をとっている時には、遠慮なく声をかけてください。その後で、三中にもご連絡ください。是々非々の指導も見守り活動も、その一瞬を逃してしまうと効果は薄れ、取り返しのつかないことにもなりかねません。地域の行事に参加したり、学校行事に地域の方のご協力を仰いだりすることよりも大切なことだと思えます。よろしくお願いします。